

平成25年内に観察したきのこたち

山川 続 (長崎県)

(1) タマノリイグチ (イグチ科タマノリイグチ属)

期 日：平成25年8月1日

場 所：唐津市厳木町・作礼山キャンプ場



以前、鹿島市平谷で観察されたと聞き、観察したいきのこの一つでした。この日は、8月4日に開かれる定例観察会に参加するため、場所の確認と下見で来ました。6時間近く散策して、不明種を含めて50種近くを観察しました。下見を終え、駐車場に戻るため、炊事場からみどり池に沿って歩いていると、右図の○の地上からイグチが出ていたので採ろうとしたら柄の途中で折れました。普段はイグチだから、「折れちゃった」で終わりなのですが、この日

は、地中はどうなっているのかと疑問に思い、掘ることにしました。すると、丸い物体がついてくるのではないですか。丸い物体はツチグリ、しかも、ツチグリからイグチの柄が出ている。タマノリイグチだと思い、周囲を探してみると、池側の土手に数個体のタマノリイグチを見つけました。池に落ちないように気をつけながら、しばらくの間、写真を撮り続けました。まったく偶然の発見でした。見つけようと探してもなかなか見つからないのに、おもしろいですね。

夏～秋、崖土に発生するツチグリに寄生するので、ツチグリを見つけたら、タマノリイグチが寄生していないか、さらに注意して観察したいと思います。タマノリイグチの特徴として、カサ径4～5cm、汚黄土色～灰褐色または暗褐色です。また、写真でわかるように、孔口や肉は青変性があり、切断したとたん変色しました。中国にはツチグリから発生し青変性のない *Xerocomus astraeicolosis*、欧米にはニセショウロ (*Scleroderma citrinum*) から発生する *Xerocomus parasiticus* があり、欧州、北米、アジアに広く分布し、3種知られているようです。

ネットで検索していると、傘にぬめりがあり、ツチグリやニセショウロ以外に寄生しているものもあるようで、まだまだ未発見の種類があるのかもしれない。

引用資料：<http://yoshiki-yk.sakura.ne.jp/tamanoriiguchi1.html> (きのこ図鑑)

<http://kinoko.zolesystem.info/top/pages/sinshunoiguti>

